



都市協会合同審判トレーニングセンター

—◆◆— 活 動 報 告 —◆◆—

西フロッグ

姫路

但馬

西播磨

東播



募集要項

実施日時：2018年11月25日(日) 09:00～17:00 (集合08:30)

会場： 淳心学院

参加対象者： U-18ユース(1年生) 審判、姫路協会インストラクター

講師 大塚 晴弘氏 1級審判員(現Jリーグ担当副審)

メインテーマ：『副審に必要な準備と実践』

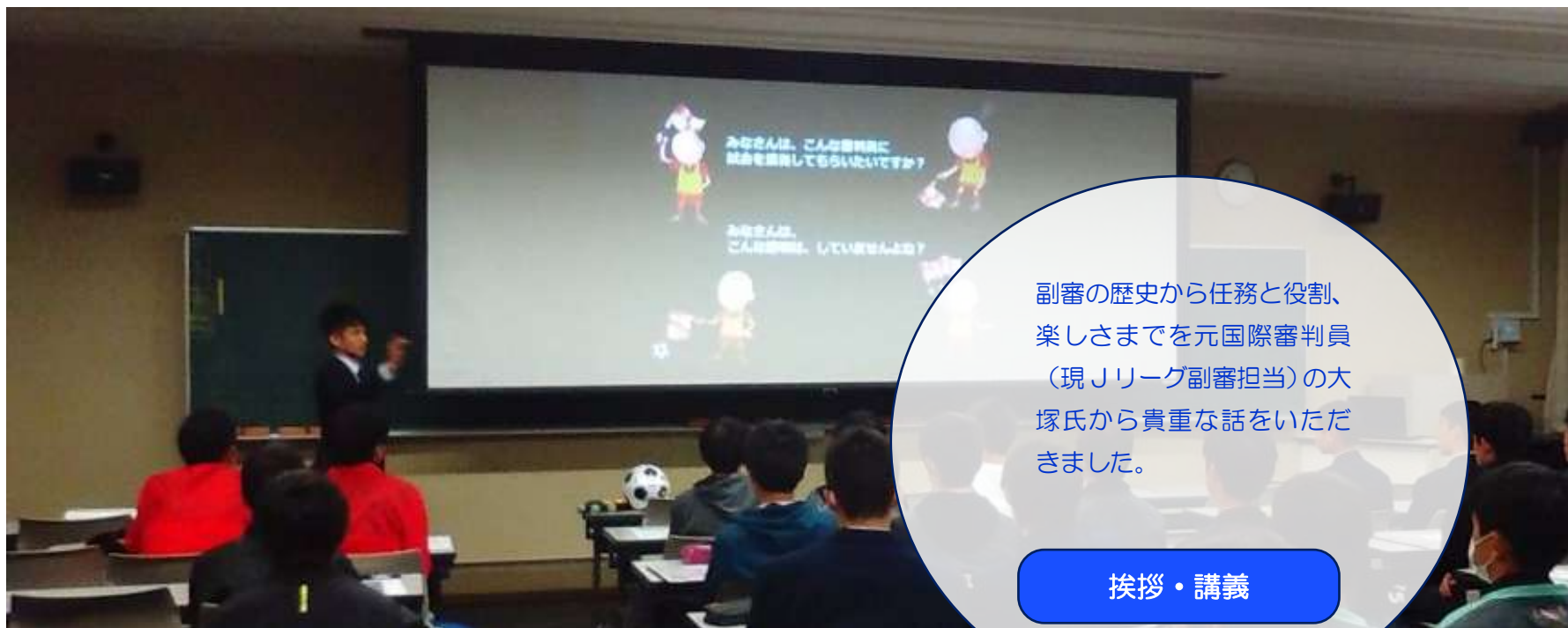
目的：	副審を担当されてる事が多い高校生年代において、『副審に特化した内容』について伝えられることは限りなく少ない。副審の割当を受けてから、何の準備をすることなく試合に臨んでいる審判員も多いのが現状。 しかし、それでは審判の重要性が正しく理解できず、また正しい判定を導くことは難しい。 そこで副審として、どのような準備が必要か？実際にどのような方法で実践していけばよいか？といった、普段知り得ることのできない内容にしばって研修会を実施することによって、ルールを少しでも理解し、選手としてのレベルアップと審判員の重要性を理解する事を目的とする。
ねらい：	副審を受けた時の『モチベーション』に大きな違いや不安があるはずです。 たしかに、高校生年代は選手として活躍して頂くことは大切です。しかし試合により副審を担当される事も多く、その責任が大きいことも事実です。 副審は得点に直結する『重大な判定の見極め(オフサイドの判定を含む)』の精度が求められます。 そこで、受講者に、副審の難しさややりがいを感じていただき、高いモチベーションで試合に臨めるよう少しでも意識を変えていくことをねらいにしています。
内容：	◆副審の歴史と任務について(講義) ◆副審に必要な準備について(グループディスカッション形式) ◆オフサイドテスト 1回目(映像を使用にて) ◆副審の動き方の実践について(実技) ◆2つのラインに合わせる動き(広い視野、体の向き、細かいステップを得るための実技) ◆攻防の中からのオフサイド判断(集中力とラインキープ、オフサイドの判断の実技) ◆オフサイドテスト 2回目(実技と映像チェック)

スケジュール

内 容			
時 間	場所	実施内容	詳 細
8:30	視 聴 覚 室	集合、受付	受付時、資料配布
9:00 - 9:10		◆挨拶、研修会の流れ説明	
9:10 - 9:40		◆副審の歴史と任務について	副審の歴史を紹介。 副審の任務については、競技規則に載っているもの以外も説明する。 また、副審の難しさと楽しさを、国際審判員およびPRとして活動してきた経験談もお伝えする。
9:40-9:45		休憩	
9:45 - 10:35		◆正しい判定をするために	グループディスカッション(ダイヤモンドナイン形式)
		◇第9条 ボールインプレーおよびボールアウトオブプレー (10分) 説明(グループディスカッションの進め方とキーワードの解説) (15分) 各グループでディスカッション (5分) 発表の準備 (10分) グループ発表(AおよびB) (10分) 質疑応答、補足、まとめ	
		休憩	
		◆正しい判定をするために	グループディスカッション(ダイヤモンドナイン形式)
10:40 - 11:30		◇第11条 オフサイド (10分) 説明(グループディスカッションの進め方とキーワードの解説) (15分) 各グループでディスカッション (5分) 発表の準備 (10分) グループ発表(CおよびD) (10分) 質疑応答、補足、まとめ	
		休憩	
	11:30 - 11:35	休憩	

スケジュール

11:35 - 12:00		◆オフサイドテスト(映像)	12シーンの映像を流し、オフサイドかNotオフサイドかを解答用紙に記入する。
12:00 - 12:50		昼休憩	*『目指したい級やカテゴリー』用紙提出
12:50 - 13:00		着替え、準備	
13:00 - 13:15	グラウンド	◆副審のシグナルについて	基本的なシグナルや旗の使い方
13:15 - 13:30		◆副審の動き方の実践について	走り方、サイドステップの種類、体の向き、視野の確保
13:30 - 13:45		◆2つのラインに合わせる動き	集中力とラインキープ、細かいステップと切り替え
13:45 - 13:50		休憩	
13:50 - 14:30		◆プラクティカルトレーニング ◇ライン付近の判断 (A,B) ◇攻防の中からのオフサイド判断	◇ライン付近の判断 岸田、藤田 ◇攻防からのオフサイド判断 大塚
14:30 - 14:35		休憩	
14:35 - 15:15		◇ライン付近の判断 (C,D) ◇攻防の中からのオフサイド判断	
15:15 - 15:20		休憩	
15:20 - 16:00		◆オフサイドテスト(実技) (1人4回ずつ)	ビデオ撮影 1vs1のシンプルなすれ違い。 (1～2本目はwalk、3～4本目はスピードアップ)
16:00 - 16:10		クールダウン	
16:10 - 16:35	視聴覚室	◆オフサイドテスト 映像チェック	良かったところ、改善すべきところを解説する。
16:35 - 16:50		◆Recap(ふりかえりとおさらい)	
16:50 - 17:00		◆質疑応答	



副審の歴史から任務と役割、
楽しさまでを元国際審判員
(現Jリーグ副審担当)の大
塚氏から貴重な話をいただ
きました。

挨拶・講義

2 級審判員の岸田氏/藤田氏
を講師に迎え、グループディ
スカッション(ダイヤモンド
ナイン)による競技規則の更
なる理解を促しました。

講義・ワークショップ



第9条

ボールインプレーおよびアウトオブプレー

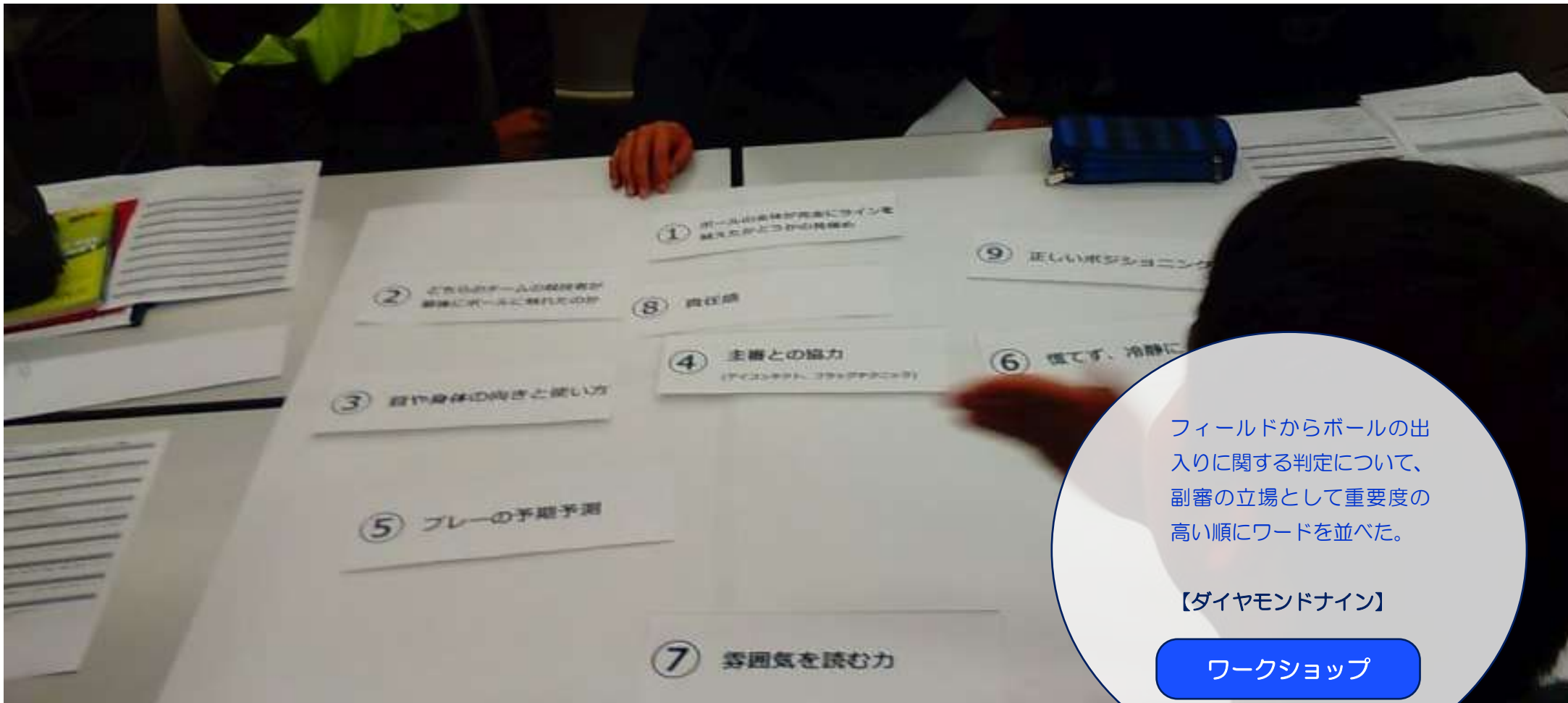
第11条

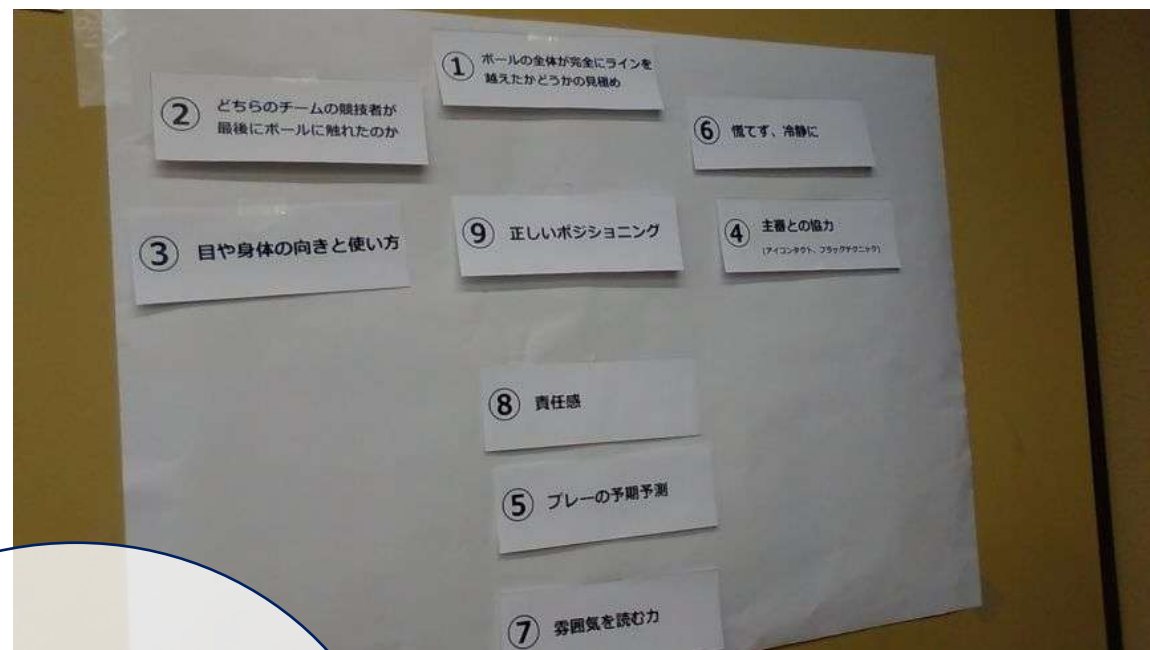
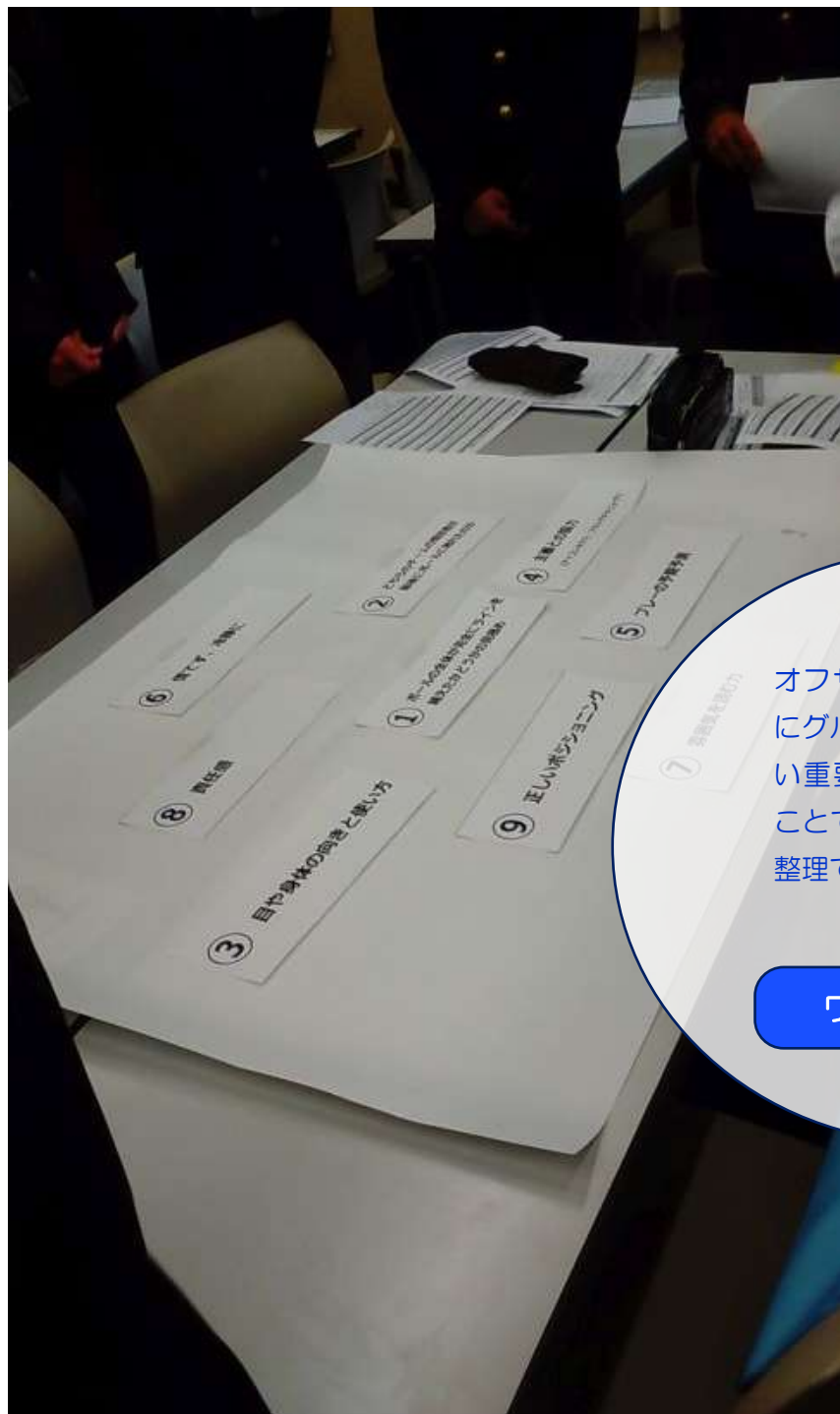
オフサイド

「ワークショップ」とは・・・・・・研究集会・参加者が自主的に体験する講習会。

「グループディスカッション」とは・・・・複数の被験者による討論のことをいう。集団討論ともいう。

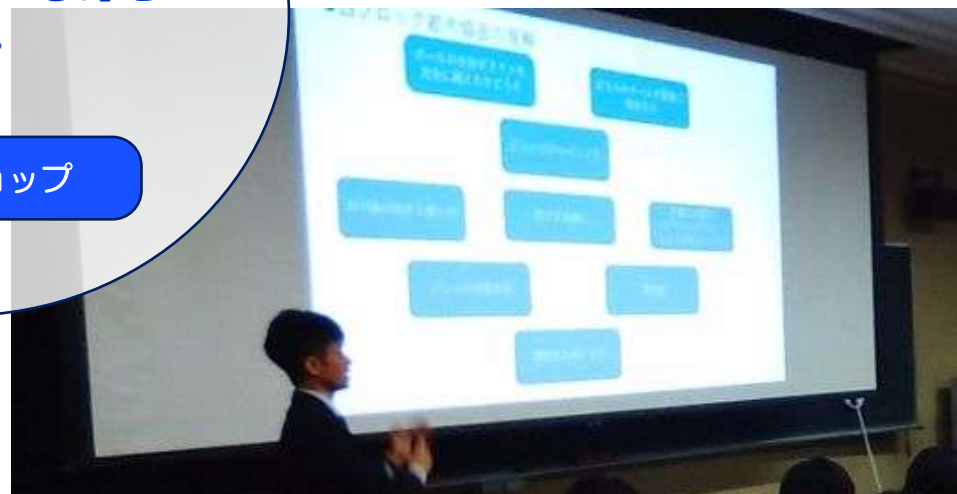
「ダイヤモンドナイン」とは・・・・あるテーマを決め、その中で重要となる[9つのワード]を提示（グループ内で決定する場合もあり）し、参加者が一緒になって考え、意見を述べ、重要度の高い物を上から順番に並べる手法。





オフサイドについても同様にグループ内で考え、話し合い重要なワード順に並べることで、「何をすべきか」を整理できました。

ワークショップ



「カ・レ・ン」を両端に挟むと「カ・レ・ン・カ・レ・ン」の形になり、この形を幾多回か繰り返せば、カ・レ・ンが消失したことになる。

約4台開出後發走了2間出關方的車庫。

検査は1回につき、10秒程度で1度しか覆われないが、簡単に何度も検査を繰り返す。

熊谷と神谷で考え事したより、号外のはるかに詳しく判定できるか確認して置いた事や

相模では前点と早ったプレーンが事いですが、その点見解でヒナオも見たらオフサイトだったプレーも

有ることで注意を促さし、健康状態を改善し得る。

※ 画面にスローダで右ボタンサイドをサブサイドにしているケースもあります。

同調現象をどうして説明する必要があるのか、自分も書いて残しておく。

【オフサイド映像テスト】

ワークショップ



午後からは、研修会場をグラウンドに移し、姿勢までこだわったシグナルの出し方、良い判定をするための目線・身体の向き・移動方法等、基礎から教わりました。

実技・基礎練習

実試合で起こりえる場面を
繰り返し再現（ゴール前での
オフサイド）し、正確に判定
できるようタイミングも含め、
トレーニングしました。

プラクティカル・
トレーニング





各セッション共に終了前には必ず「やったことの振り返り・再確認」を行なうことで、より深い理解へと導きました。

振り返りとおさらい

--- 講師兼運営委員 ---

岸田悠佑(2級審判員)

振り返って

例年、姫路審判トレセンを開催してきましたが、今年度は西ブロック都市協会合同審判トレセンとして姫路協会を中心に、西播磨協会、但馬協会、東播協会にご協力をいただき、当日は約40名のユース審判員が参加しました。

普段、なかなか接することのできない1級審判員、2級審判員と交流することができ、審判に触れることが少ないユース年代の中高校生たちにとって、非常に良い刺激になったと思います。

ユース審判員は、日頃、副審を担当することが多いことから、今回、メインテーマを『副審に必要な準備と実践』としました。午前中は講義を、午後からはグラウンドにて講義で得た知識をを活かしたプラクティカルトレーニング等を実施し、具体的にどのような準備や意識で臨むべきかをお伝えしました。

まず、はじめに、元国際副審で元PR(プロフェッショナルレフェリーの略)、現J1リーグ担当副審の大塚晴弘氏による、「副審の歴史と任務」について講義を行って頂き、審判員の大切さと責任について学びました。ここで参加者の表情が変わり、審判(副審)について前向きに向き合うようになったことが、私たちにも伝わってきました。その後、第9条ボールインプレーおよびボールアウトオブプレーと第11条オフサイドを正しい判定に導くための準備についてグループディスカッション形式で実施し、参加者から積極的な意見や発言もあり、各グループごとに堂々と自分たちの見解を発表してくれました。

また、映像を使用したオフサイドテストも実施し、オフサイドの見極めの難しさを体感していただきました。

午後は、副審のシグナル、副審の動きや目や体の使い方の工夫について実施し、プラクティカルトレーニングでは、午前のグループディスカッションで行った、第9条と第11条の判定を行い、頭で考えたことをすぐに実践し体感することができ、とてもクリアになったと思います。

最後は実際にオフサイドのシーン(シンプルなすれ違い)を判定してもらい、改めて難しさを感じてもらいました。

参加者の皆さんが、終始目をキラキラと輝かせ、一生懸命に取り組む姿勢が嬉しかったのですが、さらに嬉しかったのは、トレセンが終了する頃には、上級審判員、国際審判員を目指したいという参加者もあり、「とても有意義な1日にできた」と私自身とても感動しました。

また今回、参加者には、トレセンの資料をファイリングし、形にも記憶にも残るように準備しました。オフサイドテストの結果やアンケート用紙に記入していただいた疑問や質問に対する回答を後日フィードバックし、そのファイルに綴ってもらうことで、ただトレセンを実施するだけでなく、体験した内容を整理して復習することができ、今後の審判活動にすぐに活かせる素晴らしいものになったと思います。

最後になりましたが、今回の西ブロック合同トレセンにご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。また、今回の参加者から上級審判員が誕生することを願うとともに、様々なところで、審判員として、そして人間として成長してくれることを願っております。

2018年度 西ブロック都市協会審判トレセン

日時：2018年11月25日(日) 09:00～17:00 (08:30集合)

会場：淳心学院 視聴覚室およびグラウンド

対象者：ユース審判員(40名)、インストラクター

メインテーマ：

『副審に必要な準備と実践』

<配布資料>

- 2018年度 西ブロック都市協会トレセン スケジュール表
- 参加者およびグループ一覧表
- 副審の歴史と任務
- 第9条 グループディスカッション
- 第11条 グループディスカッション
- 副審のシグナル
- Recap(ふりかえりとおさらい)

<トレセン終了後に配布する資料>

- 審判アンケートに記入頂いた疑問、質問への回答
- オフサイドテスト(映像、実技)
- 正解率、ミスが起きた原因、正しい判定をするためのポイント
- オフサイドテスト(実技) 映像データの配布

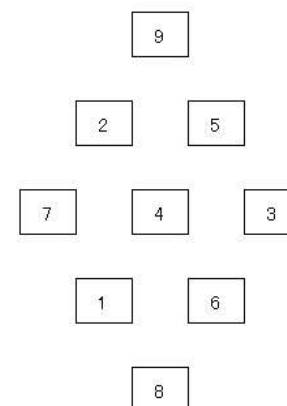
当日までに準備された資料(一部紹介)

第11条 オフサイド

項目

- 1 プレーの予期予測
- 2 FWとDFの位置関係の把握
- 3 慌てず冷静に (wait&see)
- 4 目や体の向きと使い方
- 5 ボールの出所の把握
- 6 2列目からプレーする可能性の有無
- 7 オフサイドの成立となる条件を満たしているか
- 8 守備側競技者のプレーかセーブか
- 9 オフサイドラインキープ (正しいポジション)

重要



解答

2018年度 西ブロック都市協会トレセン

ウォーミングアップ

◆2つのラインに合わせる動き

<目的>

審判員は正しい判定をするために『広い視野の確保』が求められることが多くある。
2つのラインに合わせて動くことによって、
●目や身体の向きや使い方を工夫することが習得できる。
●短かなステップや動きの切り替えも習得できる。
また、小スペースで実施でき、ウォーミングアップとしても効果的である。

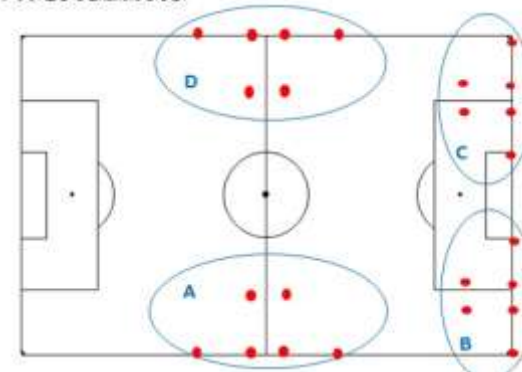
<準備>

マーカーコーン
1グループ6個必要×4グループ＝24個
マーカーコーンの間隔は9.15m(10yd)

B,C,Dは、
図様の『副審の動き』実施中に
セッティングする。

<進め方>

- 4つのグループに分けて実施する。
(A,B,C,D)
- 説明は全体まとめて行う。(Aの場所です)



お 礼

---講師兼運営委員長---

松本 実(姫路協会審判委員長)

開始直後、渋々受講していた高校生が、最後に「審判に興味があるか」との質問にほぼ全員がすぐに手を上げてくれたのは嬉しかったです。

いろいろと準備が大変でしたが、姫路協会としても進めていく上で近隣都市協会との連携も含め、成長することができました。

受講者をはじめ、快く送り出してくださった各高校・チーム関係者様、保護者様のご理解と、各方面からのご支援に感謝申し上げます。